

✓ Third party verified

Environmental Product Declaration

Conformance with
ISO14025 | ISO14040 | ISO14044

TOSHIBA

東芝テック株式会社

Toshiba Tec Corporation

デジタルカラー複合機

(Multifunctional Digital Color Systems)

e-STUDIO331AC

e-STUDIO331AC



登録番号

SuMPO-EPD-2606-179-1

検証合格日

2026/6/16

公開日

2026/7/13

検証有効期間

2031/6/15

EPDタイプ

単一製品EPD

※更新された場合は初版公開日

追加の準拠規格

なし

EPDは検証期間であっても、更新または公開が中止となることがあります。

EPDの最新版および有効性を確認するには以下を確認してください。

<https://ecoleaf-label.jp/epd/search>

●基本情報

> プログラム情報

プログラム名称	SuMPO環境ラベルプログラム
プログラムオペレーター	一般社団法人サステナブル経営推進機構
所在地	東京都千代田区内神田1-14-8 KANDA SQUARE GATE 4F
ウェブサイト	https://ecoleaf-label.jp

> GPI・PCR情報

GPI	SuMPO EPD Japan General Program Instructions v.2.1.1
PCR名称	画像入出力機器
PCR登録番号	SuMPO-PCR-02001-9-0-0
PCR認定日	2025/10/17
レビューパネル委員長（所属）	山岸 健（株式会社LCAエキスパートセンター）
PCR有効期限	2030/10/16
PCR発行者	一般社団法人サステナブル経営推進機構

> 検証情報

検証の種類	ISO14025に従った第三者検証		
	☐ 内部	☒ 外部	
	☒ 検証員による 第三者検証	☐ 検証機関による 第三者検証	☐ EPDシステム認証 による第三者検証
検証実施者（所属）	小関康雄（小関環境事務所）		

> 準拠規格

準拠規格	☒ ISO14040:2006	☒ ISO14044:2006	☐ ISO14067:2018
	☒ ISO14025:2006	☐ ISO21930:2007	☐ ISO21930:2017
	☐ EN15804+A2	☐ EN50693:2019	☐ ISO/IEC63366:2025

EPDに記載の情報及びEPDに記載の情報に関する環境主張についての責任はEPD取得事業者が持ちます。EPDの内容に関するご不明点、確認事項については、EPD取得事業者までお問い合わせください。

EPDの比較は、製品の機能を十分に考慮した上で実施されなければならないため、製品のライフサイクル全体を考慮し、同等の用途を想定したシナリオを適用している必要があります。EPDの比較の際に考慮すべき条件は本宣言が使用するPCRを参照してください。

EPDの比較可能性は、機能単位を適用しているものに限定されます。

環境影響評価結果はあくまで相対的な数値です。数値の大きさにより環境への影響を一概に結論づけられるものではありません。また、算定した数値は環境への具体的な影響の大きさや安全性（閾値を超過しているか等）、リスク評価（環境や人間にどれだけの影響を及ぼすか等）を直接示すものではありません。

加重平均を用いた算定の場合、ライフサイクル影響評価結果及びライフサイクルインベントリ分析関連情報、廃棄物関連情報、出力フローに関する環境情報は、特定の製品についての情報ではありません。

●EPD取得事業者情報

事業者名・部署名	東芝テック株式会社、ワークプレイス・ソリューション事業本部 ビジネスイノベーション統括部 ビジネスイノベーション管理担当
住所	静岡県三島市南町6-78
問い合わせ先	055-976-7573（代表）
LCA算定実施者（所属）	ビジネスイノベーション管理
事業者概要	東芝テックは、POSシステムや複合機などを中心に“リテール & プリンティングソリューション”を展開する東芝グループの中核企業で、国内外で幅広い事業を展開する電機メーカーです。

●製品情報

製品名称		e-STUDIO331AC
製品の型式		FC-331AC
製品仕様	製品質量	64.38kg
	製品機能	複合機（コピー、プリンタ、スキャナー等）
	製品の用途	ビジネス用機器
	技術性能	33枚/分
耐用年数	年数	5
	使用条件	10~30℃、20~85%RH、結露無きこと。
	年数を設定した根拠	製品仕様書より
製造サイト（製造拠点）		中国工場（TESS）、マレーシア工場（EMMY）
製品概要		(a)複写機、プリンタ及び複合機（EP方式、ラージフォーマット含む） 1. 方式（EP） 2. カラー 3. 印刷速度（33,40） 4. 最大用紙サイズA4 5. プリント/コピー/スキャン/FAX/両面印刷/ADF(原稿自動読み込み)
製品ウェブサイト		https://www.toshibatec.com/cnt/products_overseas/MFP/eS401AC_series/

●材料及び物質に関する構成要素

製品構成要素	割合 (%)	質量
普通鋼	41.0	21.31 kg
SUS	2.7	1.39 kg
その他金属	1.7	0.87 kg
アルミニウム	0.7	0.35 kg
ガラス	2.5	1.28 kg
熱可塑性樹脂	42.6	22.14 kg
熱硬化性樹脂	0.1	0.05 kg
ゴム	0.3	0.14 kg
紙	0.0	0.01 kg
木	0.0	0.00 kg
電子回路基板	4.4	2.29 kg
モータ類	4.1	2.13 kg
包装材構成要素	割合 (%)	質量
その他金属	2.4	0.30 kg
熱可塑性樹脂	6.6	0.81 kg
紙	44.8	5.57 kg
木	46.2	5.74 kg

●生物由来炭素含有量

項目	含有量 (kg-C)	含有量 (kg-CO ₂ eq)
製品あたりの生物由来炭素含有量	—	—
提供元にわたる包装資材の生物由来炭素含有量	—	—

●LCA 関連情報

> EPDタイプ情報

EPDタイプ	製品タイプ	☒ 単一製品		☐ グループ製品		☐ 業界製品			
	サイトタイプ	☒ 特定サイト				☐ 複数サイト			
	開示方法	☒ 特定値		☐ 加重平均値		☐ 代表値		☐ 上限値	
地理的範囲		北米							
複数製品/複数サイトを 含むEPDにおける 代表性の説明		－							
複数製品/複数サイトを 含むEPDにおける、算定結果 の		－							
複数製品EPDの説明		－							

> LCA関連情報

宣言単位		製品1台あたり		
宣言単位当たりの質量 (質量への換算係数)		64.38kg		
基準フロー (機能単位を満たすた めに必要な製品数)		—		
システム境界		☐ Cradle-to Gate	☐ Cradle-to-Gate with options	☒ Cradle-to-Grave
LCAソフトウェア		MiLCA for EPD 3.2.0.0		
LCIデータベース		IDEAv3.1		
特性化モデル		IPCC第5次評価報告書 (IPCC,2013年)		
その他のバックグラウンドデータ		—		
二次データ品質		GPIに規定の二次データ品質を満たしたデータを用いて算定を行った。		
一次データ収集拠点		中国工場 (TESS)、マレーシア工場 (EMMY)		
一次データ収集期間		2025年1月～2025年12月の1年間のデータ		
生物由来炭素の取り扱い		☒ 0/0アプローチ	☐ -1/+1アプローチ	
電力契約に 関する情報	有無	☒ 国や地域の平均的な電力ミックス	☐ その他	
	種類	—		
	購入日	—		
発行元		—		

> 算定対象段階

原材料調達	製造	流通	使用・維持	最終(EoL)
☒	☒	☒	☒	☒

■ : 算定対象 — : 算定対象外

> アロケーション

本体の製造エネルギーに関しては、中国工場およびマレーシア工場それぞれの全体組み立て工数に対する本体一台分の工数比率からアロケーションを適用した。また中国工場での定期交換部品製造に関するエネルギーも同様な手法で算出した。

> カットオフ

カットオフ0%なので、記載無し

> システム境界

PCR4.4.6に記載されている以下項目は、算定対象にしていない。

- 従業員の業務従事（機械の操作にかかる従業員自身の環境負荷等）や移動等に係るプロセス
- 研究開発や事務等に係るプロセス
- 製造施設や設備等の資本財の製造及び建設に係るプロセス（発電所及び発電設備を除く）
- 輸送で使用するトラックや船舶、飛行機等の製造に係るプロセス
- 作業着や軍手等、製品の製造以外にも使用する汎用的な物資に係るプロセス

> シナリオ

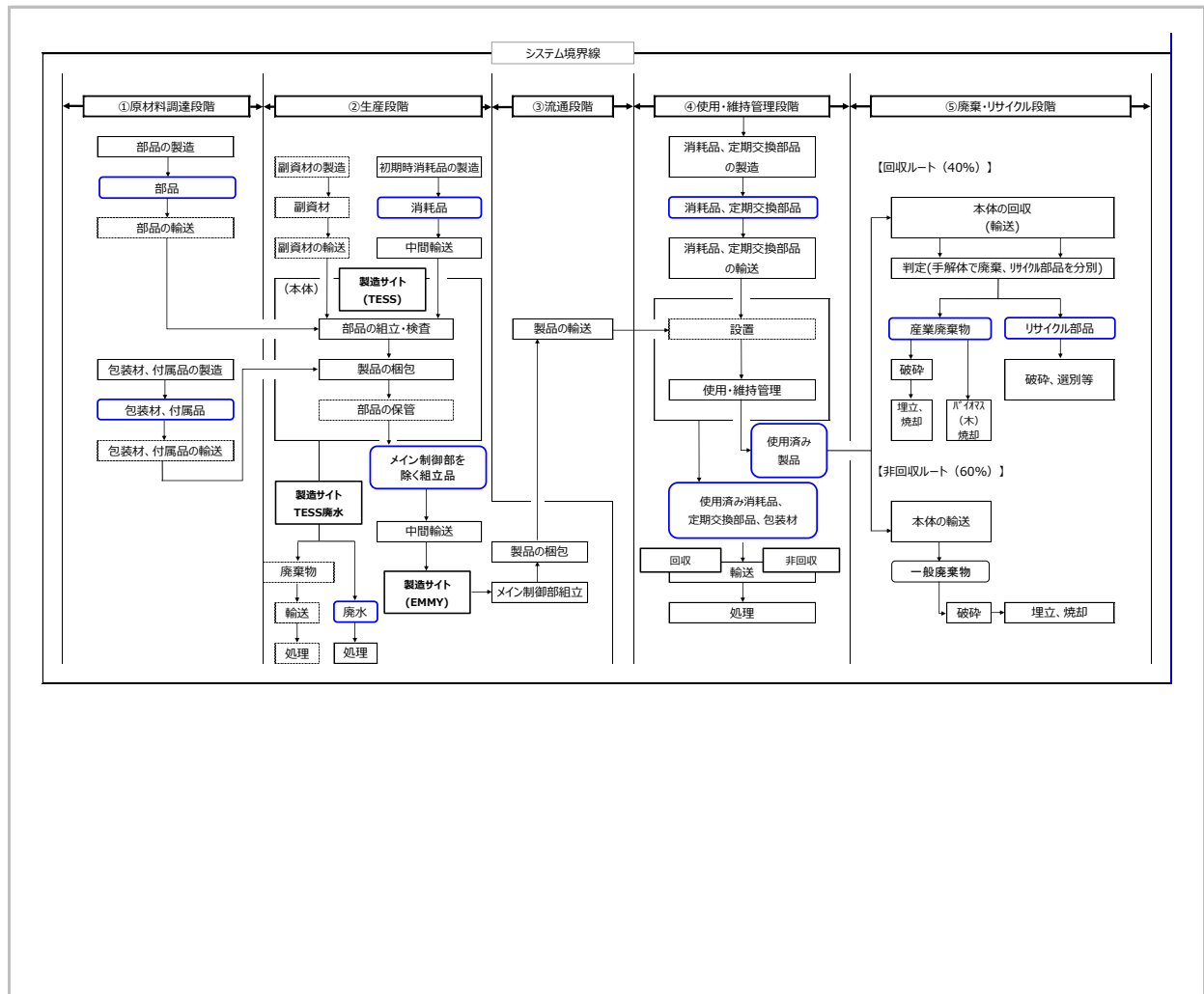
60%は廃却として使用した。

→根拠：4.4.5.5.3 シナリオを参照（製品回収率は算定対象製品またはその類似製品の実績値とし、実績値の把握が困難な場合は国内海外を問わず40 %とする。）

> 電力モデリング

- ・中国の工場の電力については、2015年における中国平均の系統電力のデータを用いて算定を行った。
- ・マレーシアの工場の電力については、2015年におけるマレーシア平均の系統電力のデータを用いて算定を行った。

> ライフサイクルフロー図



●算定結果

> ライフサイクル影響評価結果

		①原材料調達	②生産	③流通	④使用・維持管理	⑤廃棄・リサイクル
気候変動	kg-CO ₂ eq	2.52E+02	3.34E+01	5.97E+01	2.72E+02	7.70E+01
オゾン層破壊	kg-CFC-11eq	6.00E-05	3.12E-07	7.29E-10	1.11E-05	9.79E-07
酸性化	kg-SO ₂ eq	2.62E-01	1.81E-01	1.15E-01	9.09E-01	4.71E-02
都市域大気汚染	kg-SO ₂ eq	1.96E-01	1.50E-01	4.43E-02	7.24E-01	2.05E-02
光化学オキシダント生成	kg-C ₂ H ₄ eq	7.68E-03	7.86E-05	2.93E-04	3.09E-03	1.26E-04
有害化学物質(発がん性)	kg-C ₆ H ₆ eq	3.86E-01	3.04E-02	2.95E-04	1.15E-01	5.91E-03
有害化学物質(慢性)	kg-C ₆ H ₆ eq	3.69E-03	1.10E-04	1.94E-04	1.17E-03	4.31E-05
水生生態毒性	kg-C ₆ H ₆ eq	9.46E-01	4.59E-02	7.73E-06	2.06E-01	1.23E-02
陸生生態毒性	kg-C ₆ H ₆ eq	1.59E+01	5.65E-02	1.43E-04	2.15E+00	1.82E-01
富栄養化	kg-PO ₄ ³⁻ eq	1.09E-02	2.13E-03	6.05E-10	1.90E-03	9.55E-05
土地利用(維持)	m ² /年	2.85E+01	1.82E-01	2.82E+00	2.75E+00	2.04E-01
土地利用(改変)	m ²	5.05E-02	4.18E-03	5.64E-02	7.41E-02	4.22E-03
資源消費	kg-Sbeq	3.96E-01	1.19E-04	2.51E-04	3.85E-02	5.56E-05

> ライフサイクルインベントリ分析関連情報

		①原材料調達	②生産	③流通	④使用・維持管理	⑤廃棄・リサイクル
非再生可能資源	kg	4.12E+01	2.40E-01	5.45E-05	4.58E+00	8.50E-01
非再生可能エネルギー	kg	1.12E+02	1.45E+01	1.84E+01	1.12E+02	3.62E+00
非再生可能エネルギー	MJ	4.53E+03	5.08E+02	8.25E+02	4.78E+03	1.56E+02
再生可能資源	kg	7.80E+01	2.17E-02	1.39E-05	2.56E+01	2.31E-02
再生可能エネルギー	MJ	4.31E+02	4.66E+01	1.88E-02	6.74E+02	2.41E+01
淡水の消費	m ³	2.60E+01	2.28E-02	1.10E-03	6.82E-01	6.36E-03

> 廃棄物関連情報

		①原材料調達	②生産	③流通	④使用・維持管理	⑤廃棄・リサイクル
有害廃棄物	kg	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00
無害廃棄物	kg	1.37E+01	2.99E-03	4.72E-07	6.99E+00	2.27E+01
一般廃棄物 埋立物	kg	2.67E-07	2.65E-13	7.82E-16	1.59E+00	1.75E+01
産業廃棄物 埋立物	kg	1.37E+01	2.99E-03	4.72E-07	5.40E+00	5.24E+00

※ライフサイクルにおける廃棄物量を示しています。

> 出力フローに関する環境情報

		①原材料調達	②生産	③流通	④使用・維持管理	⑤廃棄・リサイクル
再利用可能な部品	kg	—	—	—	—	—
リサイクル用材料	kg	—	—	—	—	—
エネルギー回収用材料	kg	—	—	—	—	—
廃棄物からの排出エネルギー (エネルギー回収効率 ≥ 60%)	MJ	—	—	—	—	—
廃棄物の焼却 (エネルギー回収効率 < 60%)	廃棄物焼却処分量	kg	—	—	—	—
	回収エネルギー	MJ	—	—	—	—
廃棄物の埋立 (廃棄物の埋立により発生する埋立ガスからのエネルギー回	廃棄物埋立処分量	kg	—	—	—	—
	回収エネルギー	MJ	—	—	—	—

> LCA算定結果に関する説明

一般的な値（原単位）を利用しているため、当製品素材特有の特徴を反映していない場合があります。そのため、この結果は概算値としてご利用ください。

- ・算定時に想定した製品の仕向け先：北米
- ・使用・維持段階の算定方法：PCRのシナリオに基づく
- ・想定使用期間：5年間
- ・適用した国際エネルギースタープログラムのバージョン：バージョン3.2
- ・使用・維持段階での印刷用紙の負荷は計上していません。
- ・負荷算定に用いるシナリオにおいて選択した製品：複合機（EP方式）

●追加の環境関連情報

> LCAに関連しない追加の環境情報

- ・ISO14001認証取得工場で生産しています。
- ・国際エネルギースタープログラムVer3.2に適合しています。
- ・欧州RoHS指令に適合しています。

> 有害物質に関する情報

有害物質名	CAS No.	適用される基準または規制の参照
—	—	—

●用語の定義

—

●参考文献

- ・ISO14025:2006 Environmental labels and declarations — Type III environmental declarations — Principles and procedures
- ・ISO14040:2006 Environmental management - Life Cycle Assessment - Principles and framework
- ・ISO14044:2006 Environmental management - Life Cycle Assessment - Requirements and guidelines

●改訂履歴

—